

令和4年度 第5回 男女共同参画及び多様な性の尊重に関する審議会 議事録

- 1 日 時 令和5年2月13日（月）午後2時00分～午後4時00分
- 2 場 所 横須賀市役所 消防局庁舎4階 災害対策本部室
- 3 出席者
- [委員] 8人
 志村委員長、飯田委員、井田委員、江藤委員、工藤委員、櫻井聡委員、
 中島委員、横山委員
- [事務局] 4人
 市長室 井上室長
 市長室人権・ダイバーシティ推進課 杉山課長、上嶋課長補佐、川井主任
- [傍聴] 2人
- 4 審議事項 第6次横須賀市男女共同参画プラン（最終案）について

5 議 事

開 会	
事務局	開会
市長室長	挨拶
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会成立の報告 ・本日の資料の確認 	
審議事項	
委員長	今説明がありました第6次男女共同参画プラン最終案につきまして何かご意見ご質問ある方はお願いします。前回の会議で皆さんから出していただいた意見を中心に直してあるということですが、前回の最後の直す前のものを持ってくればよかったと思いました。修正前と後で見比べればより分かりやすかったかと思います。おそらく前回出席された方はご自身で、提案されたところはお分かりになると思うので、その部分を中心に、それから説明いただいた部分で引かかる部分など、皆さんそれぞれご専門の立場で広く見ていただいて改めて意見があればよろしくお願いします。事務局に聞きますが、これはカラー印刷ですよ。
事務局	はい。
委員長	手元に5次のプランがありますが、今日の最終案は白黒で配布されていますが、カラーで

	提示されるということです。白黒では見にくいところもカラーで見やすくなると思うのですが、編集上の工夫で読みやすい読みにくいあるかと思imasuのでそのあたりも意識してご意見いただけるとありがたいと思います。
委員	レイアウトのことなんですが、50 ページの SOGI・ハラスメントのところなのですが、1 ページ前のマタニティ・ハラスメントやパタニティ・ハラスメントのところと合わせてあり、言葉の前に丸が記号で入っているのですが、SOGI の前に記号の丸が入っているとアルファベットの O と丸を見間違えてしまい、すぐに SOGI・ハラスメントと読めなくなってしまうのでは。カラーになると印象が違ふのかもしれませんが、言葉の前に記号がついているとわかりやすいです。49 ページではカタカナの前についているので大丈夫なのですが、ページをめくったときにオーに見えてしまったので、言葉の前の記号を変えていただけると読みやすいかと思いました。もう一点、49 ページのパタニティ・ハラスメントが追加されているところなのですが、学生のレポートをたくさん読んでみると、育児休暇と書いている生徒がいる。育休といいます、男性が育児休暇を取ることを進めるべきだと書いてきて、それは育児休業だよねと思いました。つい略して言ってしまいがちですが、マタニティ・ハラスメントのところでは、育児休業等と書いていたりもするので、ここはあえて育児休業と略さない形で書いてはどうかと思いました。
委員長	ありがとうございます。今のご意見に何か補足ですとか追加とかあればお願いいたします。私個人的に申し上げると OSOGI(オソジ)はなるほどと思いました、カラーであっても色弱の方は読めなくなってしまうので、大変大事なご指摘だと思います。これは枠に入っているものがトピックですか。5次プラン見ていて思ったのですが、コラムの部分が曲線のフレームで書いてあり、なおかつ地の色を色付けしてあります。今全体を流し見たときに、本文なのかトピックなのか少し分りにくいかと思ったので、この部分はトピックにするにしてもメリハリをつけたほうが良いかと思います。5次プランではコラムと記載されているのですが、今回はトピックなど特に記載しない予定ですか。
事務局	その点につきましては事務局でも話し合ったところなのですが、今回先ほども申しましたように、コラムからトピックに変更しまして、コラムは論説とか論評が入るとのことなのでトピックにしたのですが、トピックとはという提議づけ、説明なのですが解説とかにしてしまうと少し硬くなってしまうのでトピックにしたいという思いがありまして、記号で柔らかくしようかと思ったのと、トピックの定義づけもしなくてはいけないので、柔らかい感じで載せたいと思いました。トピックと記載したほうが分かりやすいですか。
委員長	分りやすいというよりも、計画の本文とそれに関する大事な情報ですということだと思うのですが、その本文の場所とトピックの場所とぜひ参考として読んでくださいという感じなのか、一気に全部読んでくださいという感じなのか、その差が出てくると思う。プランの内容だけ一読したい人は飛ばしてもよいわけで、コラムと書いてあれば飛ばせると思うのですが、しかし、こういった書き方になっていると計画の本文と一見見分けがつきにくい、それでも良いのだが、読んでみると疲れてしまうと思います。本文だけ読みたい人にはトピックと書き分けていたほうが視覚的に読みやすいのではないかと思います。
委員	その通りだと思います。それで単語を挟んでいる四角が1つのところと3つのところがあって、何か使い分けているのかと思ったのですが、統一したほうが分かりやすいと思いました。24 ページ 25 ページなど。
委員長	レインボーカラーと性のあり方は四角が一つで挟んであり色も若干違うと思いますが。

	色分けの定義はありますか。
事務局	22 ページのジェンダー平等について気を付けたいこと・ことばと、25 ページ多様な性について気を付けたいことばは、気を付けてほしいという部分を目立たせたかったので、オレンジにしました。色の違いや意味合いが気になる方もいらっしゃると思うので、統一したいと思います。四角については25 ページについては四角が三つあるということですか。
委員長	逆です、ほぼ四角が三つなのに24, 25 ページでは一つで囲っているという感じですか。
事務局	四角3つのところは大きい枠組みだったのですが、性的マイノリティがずっと続くので、最初に性的マイノリティの説明ということで四角を3つにしたのですが、隣の性のあり方につきましても性的マイノリティの一つとして掲げたところなのですが、大項目と小項目のつもりではあったのですが、少しわかりづらい部分がありましたので、統一したいと思います。
委員長	大項目と小項目ではあるのですね、確かに26 ページでは四角が2つで囲っていますものね、気持ちはわかるのですが、分かりやすくしたほうがよさそうですね。従来の5次プランでのコラムはシンプルで分かりやすい部分とこういう形での表現で分かりやすくという部分を補填いただければ形はどういったものでも構いませんが、ご一考いただけたら。
委員	市民に意見を募ったところかもしれないのですが、18 ページの推進体制のところにも人権・ダイバーシティ推進課を入れなくてもよいのだろうかという疑問があります。重要な役割を担っていると思うのですが、変わる可能性もあるとは思いますが。
委員長	課自体を入れるということですね。推進体制の1～7にということですね。おそらくプラン全体を内の課がやるということというイメージもありますが。
事務局	委員長がおっしゃるようにプラン全体の進捗管理は当課が行うというイメージですので、あえてここに書き出していないということをご理解いただきたいと思います。
委員長	課名を入れたほうがいいんじゃないかという声もわからなくはない気がしますが、市民が見たときに課は何をやるのといった感じのご心配ですか。
委員	そうですね、全体としてプランが実施、推進されている全体像が分るとよいかと思いました。
委員長	11 プランの進行管理というタイトルのすぐ下に全体の管理は当課で行います。そういった書き方もよいかもかもしれませんね、それに対してそれぞれ枝になっている関連している部署や、機関が下のことをやっていきますみたいな書き方もあるかもしれませんね。
事務局	行政はそれぞれの課がそれぞれの役割があり、行っています。ここに書いてもいいんじゃないかというご意見はありがたい言葉ですけど、一番後ろのところにも、発行：人権・ダイバーシティ推進課とありますのでここであえて、やっていますということではなく、私たちだけでなくいろいろ一生懸命やっているところを書いて、全体としてこのやり方なのでメリハリがあると思います。
委員長	ありがとうございます。審議会の立場でもここにいるからそう思っているのかもしれない

	くて、市民目線はとても大事なので。どちらもありである気がするので皆さん意見があればお願いします。では意見があれば後程。
委員	レイアウトのことで共有させてください。前は第5次プランの21ページを見ると、樹形図的になっていて重点目標3つに分かれていてそれぞれ細かいところが、大きく色分けされていて見やすくなっていたと思いますが今回6つになったことで、このレイアウトは同じように色で分けるおつもりでしょうか、それとも特に考えていなかったのかいかがでしょうか。
委員長	これは質問ですので、事務局のほうからお願いします。
事務局	今ご質問いただいた件につきましては、今回でいうと20ページで、今回については現時点で色分けは考えていませんでした。
委員	意見をいいですか。今回いろいろトピックなども分かれていて、内容も充実しているので、今回は5つの目標で5色分けがあったほうが、やはりわかりやすいのではないかと先ほどのトピックだけ背景に色を付けるなど、そういうところも含めて考えるとそのほうがわかりやすさとカラフルだとただめくるだけでもテンションが上がるので。
委員長	本のグラフィック分けとしては章立てで分けて見せていくところで、ここから先は違う項目の話になるといったほうがわかりやすいので、子どもや小学生には使うと応用が利く、多分これはフルカラーページだから色を加えても構わないはずなので、章立てに沿った色にして、先ほどもあったように少し重要なのでオレンジにすると話がありましたが、重要度で色分けをするのではなく、系列で色分けをするというのは見やすく整理もついて、先ほどの問題もわかりやすくなるんじゃないかな。全部薄い色なのでこうやって地色にしても元のプランみたいに見にくさの支障は全然ないと思います。 コロナ下ってそうですよねって思ったのですがコロナ下って政府、内閣府も使っているのですが、正しいのかなと思って、コロナ流行下だったら分るのですが、流行している状況下においてという言い方だと思うので、コロナ禍だったらそうかなと思うのですが、下と書いてしまって意味が通じるのか、少し不安がありますが、どうなのでしょうね。
事務局	今委員長がおっしゃったコロナかの漢字なのですが、コロナ下が漢字としては正しいのですが、内閣府が付けた研究会の名前と男女共同参画白書の記載に沿った形ではあるので、最初コロナ下が正しいのではとご意見があり調べてコロナ下に変更した経緯があるので、こちらとしてもどちらが正しいのか調べて変更した経緯があるのですが、コロナ渦のほうが正しいのではないかと思う方もいらっしゃる。多分コロナの状況下としたほうがよいでしょうかね。あえてコロナ下とこだわらず。
委員長	これは委員の皆さん賛成反対でなくご自身でどう感じるかみたいなことも含めて、ご意見をお願いします。
委員	44ページのお話でよろしいですか。本文中は報告書名なので下を使わざるをえないと思うのですが、タイトルのお話ですよね、合わせるよりはコロナ流行下の方がよいと感じました。
委員長	他いかがでしょうか。なるべくたくさん意見を聞いたほうが事務局も決めやすいと思います。

	<p>に関する事が出てきてページをめくると多様な性の視点からのコメントなりがいろいろ出てくるほうがわかりやすいかなと感じました。</p>
委員	<p>27 ページの最初のそのトピックの見出しが多様な視点に立った防災で、28 ページの多様な性の方の配慮という部分の見出しがまた多様な視点に立った配慮となってしまうので、そこが混乱のもとの一つかと思います。なので28 ページの方の見出しを先ほどの資料1-1でも前半はジェンダーの視点で後半を性的マイノリティの方たちへのそういった避難所での配慮も必要だという内容に分けているという説明があるので、資料1-1 目標1の④の説明ですね。ですのでまず28 ページの多様な視点のところを多様な性に配慮したに帰るのが一つ、27 ページのトピックはまだ2行くらい書けると思うので、1段落目の阪神淡路を追加するというお話がありましたけど、多様な性の人たちにも配慮した避難所を作ることが必要ですということはどちらかというと東日本大震災の方がより注目を集めたのではないかと。以降さらに最近の災害の時に男女という配慮だけでは足りなくなっているというところに注目が集まってきていると思うので、27 ページ1段落目の最後の災害に強い社会の構築にはジェンダー視点が不可欠です。のところにそれに加えて最近では多様な性に対する配慮もしつつ、避難所や防災を考えていくことが求められています。そのように書いておけば、まずはジェンダーの視点についての話があって、ページをめくると、多様な性の方たちに向けた配慮も両方必要ですよというくりになっとうまく収まるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>時代的にも阪神淡路大震災の時と東日本大震災での社会状況の違いみたいなものもちゃんとあるから、そこを踏まえると段階的にしっかり考えてみないとという部分もありますね。そこをしっかり書いておくとその先の問題もあぶりだされてきそうな気がします。</p>
事務局	<p>前回の資料では、最初説明がありまして、その次に性的マイノリティの配慮の例があり、最後に女性委員の積極的登用の順番で、パブコメに対するご質問をそのまま下半分に入れた形で前回ご提案したのですが、その流れで行きますと、前回で言うと最初に全体像があり、印象によっては唐突に性的マイノリティの説明が来て、また女性に戻る資料の作り方になっていました。ジェンダー視点に立った防災ということで前回したのですが、今回特に多様な性に関して別立てで、ジェンダー平等と多様な性ということでプランの根幹にかかわるところなのですが、ジェンダーの中に多様な性、少しごちゃごちゃになった状態だったので、まずジェンダー平等と、多様な性を別々にしようという方向になりました。ジェンダー平等の視点に立ち、その次に話の流れを作り、多様な性に説明が及ぶ形にしたのですが、ジェンダー視点に立ったという中に多様な性があると少し違和感があるので、題名を多様な視点で話の流れで今ご意見いただいて、少し修正したほうがいいと思いますので、ご意見を踏まえて検討したいと思います。</p>
委員長	<p>本当に難しい部分なのですが、ちゃんとわかりやすく意味が通っている、そして何を求めていくべきなのかという目標がきちっと見定まっていって形で表現していただければと思います。また良い案がありましたら事務局に伝えていただければと思います。</p>
委員	<p>34 ページのワーク・ライフ・バランスの推進の部分、非常に丁寧に作っていただいております。かっこ書きの説明の中で、「従業員の心のケア(メンタルヘルスケア)も重要となっています」と書いていただいているこのメンタルヘルスについては中小企業、小規模企業の社長達にとっては、どのようにしたらよいかかわからないんですね。なので、厚生労働省の「こころの耳」というサイトがあり、このサイトはセルフ診断など</p>

	もあり、そういったものも入れていただけるとよいと思うのと、あと参考資料のところ でいろいろ相談窓口があるのですが、メンタルヘルスについては横須賀市の健康保健セ ンターとか県の保健センターなどでメンタルヘルスに関する無料の講師派遣なども行っ ていて、相談もできるので、参考に入れておいていただければと思います。
委員長	今のご意見に何か追加、賛成等ございましたらお願いします。今書式の方で気が付いたの ですが、トピックのところにある相談窓口にご相談くださいというのは全部読んではい ないのですが、もちろん後ろに一覧があるのは大事なのですが、もしかしたらそのすぐ 下に相談先をかけるのではないかと思う。書いてしまって連絡できるというほうが、スト レートでももちろん参考資料に一覧があるほうが良いのでは。特に下に余白があるので書 けると思うのですが、うるさくなってしまふかなどうでしょう。あまり相談先がたくさん ないなら直接すぐに相談先がわかるほうが良いかなと思いました。今の話で関連付け るとこのプランのありようというの、今のものを示唆したような位置づけになっ ているんですね。行政文書で報告書や条例の文書とかそういうものは上から順に一から ずっと話が並んで書いてあって探して読んでみてねという形ですね。これはもしかする とそういうものではなくて、関連した計画を読んでいた時に、自分も当てはまるものがあ ったときすぐ行動する、もしくは人に教えてあげるなど、プラン自体が自分や周りの環境 にすぐ活用してもらえる手引書のような位置づけであるとすると、後ろに回して読んで くれというよりは、すぐそこに連絡先があるのが大事なかなと思います。このプラン自体の 位置づけに関連すると思う、そこら辺をどう位置づけるか、このプランをどう市民に広め ていくかというときに、読めば関連するところに手引きが書いてあるほうが、最後にある ものを読んで探してくださいと言うほうと縦割り感がある気がします。情報整理として 系統だって出来ているというのは事実だと思います、そのあたりが読み物としてどうな んでしょうか。皆さんはどう考えるんでしょうか。ご意見としていただけるとよいので すが。昔市民協働の時に協働事業の進め方の中で市民版を作ったという話をしたことがあ ったと思うのですが、あれなどがまさにそれで、指針という役所が発行する冊子に僕らは プランを作ったのですが、それを指針と名付けて移行させたのですが、非常に説明的に羅 列されているので、それを市民版として凝縮したときは話があったらすぐ下にどう すればよいかとか。どこの窓口だったらここに連絡してくださいなどすぐ後ろにつけた のですがそうすることによって、電話帳で調べるような感じのものと、トピックから行動に 移れる感じのものと違いが出てくるのですが、プランというと行政文書ですから、皆さん はどう考えるかですよね。
委員	簡単に乗せてしまってもよいのかと思います。43 ページに女性のための相談室があつて 50 ページにもあり、たくさんちりばめられてアクセスしやすい、そういった方向になっ ているのかとも思ったので。電話番号とか書いてありますから。
委員長	この部分を読んで、デュオよこすかか安心して暮らせる環境づくりの中にデュオよこ すかがあるよねと言って、すぐ電話できる。デュオよこすか何番だっけというときに 後ろの一覧を引いてと、たぶん二通りの引き方なんですよね、なのでご指摘の通り両方あ ってよいのかと思う。
委員	今 47、48 ページを見て感じたことで、相談窓口の話ではないのですが、必要としている 情報がパッと見てわかりやすいという意味では、このデート DV に関して 2 ページにまた がっていますが可能であればこういったものは 1 ページに貼ったほうが良いのではない かと思いました。
委員長	その通りだと思います。系統があつているところで改ページしないで見開きにするとい

	った形にすると使いやすさがよいかももしれないですね。
事務局	まず前に戻りますが、健康経営についてホームページのご紹介ありがとうございます。ホームページにつきましては、確認しまして可能な範囲で記載したいと思います。相談窓口について前と後ろに二通り引き方があってもいいというご提案ですが、こちらも見比べてみて枠の制限もありますが確認しながら可能な範囲で盛り込めたらと思います。デートDVに関しましては、確かに2か所に分かれていて、苦慮した部分もあるのですが、48ページのパープルリボン運動を前に持ってきて、デートDVと一体化すればできるのではないかと思う、その辺前後順番を変えながらできる範囲で行いたいと思います。
委員長	他にご質問ご意見ございましたらお願いします。
委員	33 ページなのですが、女性活躍や女性管理職の女性割合向上の女性だけ優遇する逆差別にならないかというところで、最初の文章で「逆差別にならない」と答えてよいと思いました。逆差別になるのかならないのか、その答えには答えていないかと思ったので、位置付けられていますので、「なりません」と立場を明確にってしまったほうがわかりやすいという印象です。もう一つはスルーしてしまっても構わないのですが、差別が社会的・構造的に人に差が生まれてしまっているとの立場だと思ってしまうのですが、この実質的平等と形式的平等のイラストの中で人の大きさが違うので、人に差があるような印象を受けてしまう。一般的にこの実質的平等と形質的平等の違いを表現するのにこのイラストが用いられるのはわかるのですが、環境によって違うので盛んに同じ大きさの人を並べて踏み台で人の身長を一緒にするとかそういったこともありかと思う。
委員長	皆さんはどう考えるか、ご意見いただければと思います。
委員	うまく説明できるかわからないのですが、江藤委員のおっしゃったところで、逆差別にならない？は私もここはクエスチオンの必要はないかなと感じました。もう一つこのイラストに関してですが、確かに文章の中で構造的な原因というのがしっかり強調されていた文章になっているのに、人間そのものがすでに差がある状況でイラスト化されているのは、ご指摘いただいて確かと思いました。それをどのように表現したらよいのか、ここで踏み台がすでに使われているので、最初から踏み台を使われてしまうと、むしろわかりにくくなってしまふのかと感じたり、例えば履いている人間の大きさは同じだがヒールの高さが違うとか、もう少し環境構造、人間ではないものでスタートから違いがあるという表現出来たらよいのかと感じました。
委員長	自然にある差からスタートを切るみたいなものはあるかもしれませんが。これを参考といいますか、書籍から引用されていると思うのですが専門の先生方はいかがかと思いますか。
委員	私が言いたかった意見はクエスチオンのことに関しては、タイトルはクエスチオンでいいのですが、そのアンサーの一文の中でならないと入れてほしいという意図でした。
委員	逆差別という話なのですが、一つの考え方としては差別の濫用だという言い方もあります。いろいろなマクロな数字が示すように、これは世界的にみてもどうとらえよう、数字としては男性が有利で、女性が劣位に置かれるような社会状況というのは明らかである、その状況下で逆差別という言葉を使うこと自体、差別の濫用、そういう考え方が一つ。形式的平等と実質的平等の部分では先ほどご指摘いただいたように、そういう風を感じる

	<p>のかと私も気づかなかった部分で、その部分をどう考えればいいのか、実質的な平等と形式的な平等はどういうふうに考えるのかといったときに、形式的は文字どおり例えば社会の仕組みとか、法的な制度とかそういったものを整えていくといったようなイメージがしやすいと思います。一方で実質的な平等は、発想としては例えば社会の中で労働の場面で情勢は社会の仕組みで、どうしても出産とか育児とか一時労働市場から離脱しなければならぬ場合が多い、そうした場合、当然労働市場での男性との競争という観点でいえば必ず女性が不利に置かれる。じゃあその差を埋めるためにどうするかといったときに、例えば公務員で採用試験の年齢制限が30歳だとすると、それを男性女性一様に適応するとやはり女性のほうが不利になる。なので男性は例えば30まで、女性は出産育児で離脱する場合を考慮して35にするなど、そういった形で埋め合わせていくことが実質的な平等の考え方に立った施策の形で実施されているかと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。お話を伺うと、腑に落ちますよね、なかなかグラフィック的に難しいですね。</p>
委員	<p>今お話を聞いていて思い出したのですが、このイラストはこれだけで見たのではなく、確かこのイラストの向こう側に野球場か何かあって、それを見ている状況だったと思うんです。それを見ていて、大きい人は何もなくても見えているでも中くらい、小さい人は見えていない状況に一つずつ箱を渡したところで小さい人はやっぱり見えない。でも箱の分け方を変えることでみんな見えるようになってこれが実質的な平等を表していると思うので思い出しました。それがあるのとないのとでは少し受け取り方が違うのではないかと思います。</p>
委員長	<p>それはとても腑に落ちますね。そういった前提条件があるイラストだったんですね。何か目的を持ったところに対して、何も考えずに同じものを渡しても実は効果がないに対してのということですかね。</p>
事務局	<p>今おっしゃられた通り、この絵の元となったものは野球場で子供と大人と見え方が違うので、平等にするために踏み台を分けたという絵だったのですが、もともと参考にした書籍も引用しているものだったので、それをさらに引用するといろいろ問題あるのではないかと思います、こちらで使うときは野球のところまで描けなかった事情があり、このような正確な表現になりませんでした。</p>
委員長	<p>参考と書いてあるので引用ではないのですね。</p>
委員	<p>横須賀らしいものが見えればいい。</p>
委員長	<p>猿島が見えるかどうかとかね。それはいいですね。横須賀オリジナルになっていたらカッコいいですね。横須賀らしい事例をこう言ったところにイラストとかこういうものに反映させるのは実はすごい大事なことで、横須賀らしいプランになっていく一助になると思うので。著作権の問題もあると思うので、事務局で少し検討いただいてうまく誤解を生まないような少し説明文でカバーをできれば追加で考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>22ページと25ページなのですが気を付けたいこと、ことばとあるのですが、似たような感じなのですが、少しタイトルのつけ方違いがあるのは何か意図をもってなのかということと、他のトピックのところは意外としっかり文章もあるのに、ここはことばが出ているだけなので、少し粗さを感じる。スペースが開いているからなのかと感じさせる。何か</p>

	工夫の余地はあるでしょうか。
委員長	これはまず事務局に示す意図を聞くといいでしょうか。
事務局	まず 25 ページと 22 ページでこととことばで分けたのですが、25 ページについては差別用語について記載したので気をつけたい言葉のみとしました、22 ページについては押しつけとか表現とか言葉だけでない部分もあったので、こと・ことばと分けました。委員がおっしゃったように枠が開いたからではないです。確かに唐突かもしれませんが説明文を 1 行つけるなり工夫したいと思います。ありがとうございます。
委員長	これは何か原典の資料があるのですか、事務局で考えたものではないですよね。
事務局	これは色々調べた結果をまとめました。
委員長	論文というわけではないですが、出典みたいなものがあつたほうが安心ですかね。こういった資料から引っ張り出しました。少し主観が入るので個人によって感じ方は違うので、根拠となった資料を提示するとか、出典があつたほうが良いかと思いました。それを見てもらえれば詳しくわかる、そんなこともあるかもしれないですね。ほかに何かご意見ありますか。
委員	22 ページのほうがジェンダー平等について気を付けたいこと・ことばとして書かれているので、可能であれば多様な性に関しても気を付けたいこと・ことばとして差別用語だけではなく、例えば男女でいろいろなものを簡単に区切らないとか、人をじろじろ見るようなことはしないでとか、ちょうど上にアウティングの項目もあるので、もう少しこととことばの付け加えることが出来るのかもしれないなと思いました。
委員長	ここに限定はされないけど、先ほど言ったように引用、元があるならよいのですが、事務局で少し絞っているとすると、なぜかなくなった部分とかありえますよね。なので公式にここから引き出したみたいなものがあつたほうが安心かと思う。
事務局	色々調べた結果このような形にはしたのですが、固定的に出典があつたほうが確実だと思しますので調べて検討したいと思います。
委員長	他にいかがでしょうか。32 ページの神奈川県内ランキング載せましたねと思ったんですが、これも事務局サイドとしては大きな決断だと思いましたが、逆に実態的に少し自治体によって判断の違いや、計り方として一概にこのパーセンテージだけを比較する意味があるかないか、一部で議論あるようなので、そういった意味で見るとどこかに一言入れてもいいんじゃないかと思う。単純に行政間の数値を比較することがすべてではありませんがとか、言い訳がましいが、一言入れてもいいと思う。
事務局	これは内閣府が出しているデータなので、そこに注釈を入れるのはなかなか難しいと思う。要は行政組織の考え方が違うので、今委員長がおっしゃったように例えば市立病院を持っています、そこに看護師長がいて、そこに課長がいっぱいいるなど、保育園を持っています、横須賀市は園長は係長級ですが、他のところは課長級になっているかもしれない。それぞれ行政は事情があつて行っているもので、私としては委員長に言っていただいてうれしいのですが、これは一度出たものなので、あえて我々の言い訳を指すのは私はどうかと思うので、検討させていただきたい。

委員長	最初の一文に入れてあげたいなと思ったのですが。
委員	具体的な数字を知らないのですが、これは内閣府が統計を取っているということは、全国の自治体を取っていると思うので、横須賀より低いところがあるんですか。全国最下位ですか。これは神奈川だけを抽出して載せていらっしゃると思うのです。これはデータとして事実だと思うんです。言い訳はしたくないとおっしゃっていますが、例えば全国で一番高いところが何パーセント、低いところが何パーセントと書き足してもいいのではないか。そこまで悪くないのだが県内では最下位というのは、この事態を重く受け止め、までは書かなくてもいいのではないか。もう少し上げたいくらいの、頑張りますくらいの表明でいいのではないかと思います。神奈川県下だけで、神奈川県が行っている調査ではないのもう少し全国に目を向けてもいいのではないかと思います。どのくらいの数値なのか県平均なども書いておられますが、全国的に見てどのくらいの位置づけなのか。しかし県内で見ると低いのもう少し改善していきたいという、「全力で取り組みます」というくらいで十分なんじゃないかと思います。
事務局	ここについては我々人権・ダイバーシティ推進課というよりも人事の話になってきますので、その辺も今いただいたご意見も踏まえ、書きぶりも考えますので、ありがとうございます。
委員	以前審議があったのかもしれませんが、18 ページのプランの進行管理に関して第5次プランの時には表があったのですが、今回表は載せない方向になったのでしょうか。第5次プランだと19ページにあります。
事務局	今回特に載せてはいないのですが、特に載せていない理由がないので、表としてはほぼ同じ表になると思うのですが19ページの下あたりを使って作成してみようと思います。
委員	これをパッと見るだけで、何年までだとか、期間感覚がつかめるのは良いと思うので、私はあったほうが良いと思うのですが皆さんいかがでしょうか。
事務局	おそらく当初評価、中間評価、最終評価という表現も今回検討する中で、いったんここを保留にした経過があったので、評価の表現も今回決まっていますので、それを踏まえて記載したいと思います。
委員長	私は一覧表の中に毎年取り組み実績報告書と書いてあるのはすごく大事だとおもっています。しっかり一年一年報告が出来て評価をしながらチェックをしながら進めていく、そういう状態もこの表からわかるのでしっかり取り組みを行っていくぞという決意と、市のしっかりした姿勢が表に表れている部分もあると思うのでそれはぜひおやりになったほうが良いのではないかと。今度は4年なので同じ表にならないのではないかと。
事務局	最終評価がプランの次の年になるので、5年の表になります。今回たまたま第5次プランが一年延びてしまいましたが、第6次はプランが終わった次の年に評価をするというので一緒になります。
委員長	そうですね、その辺も含めて表はあったほうが良いですね。ありがとうございますほかにご意見ありますか。

委員	ワーク・ライフ・バランスの部分なのですが、前回の議論の時に男性の育児休業取得促進の説明文に背景も交える内容で、男性の育児休業取得の部分の位置づけなのですが、このワーク・ライフ・バランスの部分で男性のケア・フェアへの参入と、もう一方で働き方の改革と言われている部分とセットで成り立っている部分ですよね。それでこの部分の国の施策との関連付けでいえば、第4次の時に男性中心型労働慣行を是正していくということが据えられていますので、労働慣行の是正と男性が育児休業を積極的にとっていくような仕組みをセットで施策として行っていく必要がある。そういった位置づけの部分を少し明記してもらったほうがこの位置づけとして分かりやすいと思う。ケアの提供者の役割を男性まで普遍化していくのをケア・フェアなどと言われるのですが、そういった部分について少し触れてもよいと思う。
事務局	36 ページの上の文章につきまして、今、委員からご提案いただいた部分につきまして、文面を検討したいと思います。働き方改革や、男性中心型労働慣行の部分その点につきまして、そういうような文言の文章を加えたいと思いますので、作成する中でアドバイスしていただけたらと思います。
委員長	ぜひアドバイスしてあげてください、お願いします。ほかにご質問ご意見ございましたらお願いします。
委員	少し前に委員長がおっしゃった、市民の方が見たときにすぐ連絡できるようにという話があったのですが、64 ページ以降で相談窓口一覧があるのですが、たぶん市民の方はここを見てもどこに電話すればいいのとか、どういう対応してくれるのといった少しわかりにくいと感じます。肝心なのはプランを作っていくに市民の方に浸透させていかなければならないか、市民の方がうまく活用していかなければならないところがこの肝になってくると思うので、もう少しこの部分少し説明が入っているとか、専門家がいて答えてくれるのか、職員がいて答えてくれるのか、それによっても全然違うと思います。例えば子どもの悩み相談と子育てに関する相談、どこに電話したらよいのか。いきなり法務省に掛けてしまって大丈夫なのか、もう少し細かくなっていいので、もう少し親切にお母さんが見たときに分かるとか、そういった関係者が見たときに分かるとか、少し説明文が入っていて、それぞれの機関がどのような機関なのかかわかるとよいと感じました。以前も少し話したのですが、当然このプランができた後の問題として、いまZ世代と呼ばれている人たちは読むよりも目で見てという部分があるので、職員さんでいいので YouTube で3～5分の関連動画をたくさん作ってもらって、ちゃんと横須賀市はこういった取り組みをしているんだということをしてもらって、良いと思う。横須賀市の取り組みが広がっていくんじゃないかと思っています。
委員長	ありがとうございます。今の意見に何かありますか。事務局としては今から難しい部分もあるかもしれませんが、例えば今の相談窓口でこんな内容を書き加えてもらえるところなど具体的に。
委員	補足で、これを直せと言っているんじゃないんで、これが直ったらいいと思うのですが、今後表に出ていくものに関してもこういうケアがあればいいと思う。
委員長	となるとこのプランはできたとして、そのあとの広げ方、広め方の、先ほど室長からもご指摘のあった、これからの使い方の中でそこをちゃんと生かしていきましょうというのは一つ絶対ですね。もしこのプランの中でできることがあるとしたらご意見いただきたいと思います。確かに法務省と書いてあると一瞬ひるむような気がします。動画などのご

	<p>指摘はこの後プランができたなら市民に広げていくときに、そういうのがたくさんあってQRコードから気軽に見えてくるのは、若い人たちには普及しやすい感じがします。この後これをどう広めていくかというのが議論できる機会がこの後の審議会とかありますか、考えていることがもしあれば。ほかにあればお願いします。細かいことですが61ページからの用語解説のところ、用語解説の時にはたとえばアウトティングなら四角で囲った「あ」が書いてあって、五十音順に振っておくとジェンダー探すときにサ行だなとわかるので用語解説らしくなるというのと、字体が項目の言葉と説明の文章と同じなのでぜひ項目は太字にしたり、ゴシックにしたり少し見やすい工夫をしてあるとよいかと思いました。</p>
委員	<p>今用語解説のところ、ふと思ったのですが、用語解説のところは出典や参考は付けなくてよいものなのでしょうか。</p>
委員長	<p>実際に出典元はそんなに多いですか、行政文書の例とかでどうでしょうか。</p>
事務局	<p>用語解説の用語につきましては、基本的に一番多いのは国の計画の用語を用いているのですが、一部調べた結果もあるので、出典元は全部に書くのは難しいかもしれません。明らかに国のプランからとったものに関しては、書いたほうがよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>ひとつひとつの言葉の下にあるのもどうかと思うので、一番最後の空いている場所に出典の元種だけリスト化しておくだけでも良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>用語のところ、本文のほうに※があると思うのですが※で用語と対称になっていると、先ほど僕も※で探したのですが、※と番号が振ってあるとわかりやすいと思いました。</p>
委員長	<p>ほかに用語解説部分で何かご質問ご意見ございますか。</p>
事務局	<p>今の※のところ、数字をつけるというお話ありがとうございました、第5次のプランを見ますと、用語解説のところ、何ページのコラム何とか参照のように書いてあるものもあるのですが、ただ全部に振られているわけではないので、今おっしゃられたように※1、※2のように全部振って用語解説の方に、言葉の前か後ろに※1※2のように表示したほうがわかりやすいかと思しますので、やってみまして校正の中で調整できると思しますので試してみたいと思います。</p>
委員	<p>少し教えてほしいのですが、50ページの一番下「女性のための相談室」の下囲われた中の箇条書き、一応具体例が5つあるのですが、一番下が育児休業の申請をしたら、上司からなぜ男が申請するんだ、女の役目だろうと言われた。とあるのですがこれは男性が言われているんですね、そうすると女性のための相談室に電話するのは、奥さんというとならえ方なのですか、男性は女性のための相談室に電話しないんですね。これだけわかりにくかった。</p>
委員長	<p>これは男性が言っているシチュエーションも考えられますよね。</p>
事務局	<p>これにつきましては、女性のための相談室につなげるということ、下の文章があっけないですね。この性別等による人権侵害の申出制度というのは生別にかかわらず相談できるものなんです、申出制度とは様式に基づいて申出をして、それで専門委員が相談に乗る制度なのですが、まず申出制度を申出する段階というのがかなり市民の方からすると</p>

	<p>文言のとおり、手続き上段階がありハードルが高いのでまずお気軽に女性のための相談室にご相談くださいと載せたのですが、確かに一番下のおそらく男性の視点だと思えますので。</p>
委員	<p>そういう意味だったのですね、僕はなぜ女性のための相談室の具体例に入っているのだろうとわからなくて、そういうことだったのですね。</p>
事務局	<p>そうですね少し文言とあっていないのですこし調整します。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>夫が育児の休業の申請をしたらと書いてあったら女性が質問しているとなりますが。細かいこととなりますが、他に全体のバランスとか点検していただけたらと思います。そろそろ時間が来ましたので、それではこの後本日皆さんにいただいたご意見ご提案を踏まえてできる限りプラン修正することになるのですが、プランの策定にかかわる審議会というのは今回が最後になりますので、文言ですとか、詳細につきましては事務局で修正のうえ委員長一任という形で事務局と協議のうえ修正作業を行うという形をとりたいと思いますが、そのような形でよろしいでしょうか。私が責任をもって点検させていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>先ほど審議の途中で専門の委員の皆さんにもアドバイスをいただきたいとあったので、事務局からお問い合わせ等あると思いますがご協力をお願いします。異議なしということでそのように対応させていただきます。それでは全体を通じて質問、ご意見ございますか。よろしいようなので、事務局から何か連絡事項ありますか。</p>
事務局	<p>～事務連絡～</p>
委員長	<p>多様性の話が出てきたときに今までのプランとは全く違った目線でこの計画を見なくてはいけないということで、非常に難しい事務作業だったんじゃないかと思います。しかしそんな中非常に何回も会を重ねる中非常に丁寧な皆さんへのヒアリングを通じてご意見を募り、丁寧に整理をしながらこのプランがまとめられたというのは事務局の大変な労力のおかげだと思います。私たちとしてもまとまったというのは大変うれしく思います。この後市長の方に答申という形で私の方からご挨拶かたがたお運びしますので、またご報告お待ちしております。</p> <p>先ほど室長がおっしゃっているとおりで、これで出来上がりました終わりではなく、これからいかにこのプランを市民の皆さんの中に浸透させながらこのできた冊子をいかにたくさんの方に読んでいただきながら良い環境を作っていくことこそが、カギですので引き続き委員の皆さんには継続的にご助言アドバイスをたくさんいただければと思いますので、よろしくお願いします。それでは以上を持ちまして、令和4年度第5回審議会を終了します。委員の皆様、長時間にわたり、ご審議ありがとうございました。</p>
閉	会